

令和3年度 林業普及週間現地情報 (9/20～9/24)

森林管理課

母樹林及び石垣市造林事業(除伐) 予定地調査

9月22日(水)

令和3年9月22日(水)、沖縄県八重山農林水産振興センター職員は、石垣市職員と石垣市平久保牧にあるリュウキュウマツの普通母樹林及び石垣市造林事業(除伐) 予定地の調査を行った。

平久保牧にある普通母樹林は、リュウキュウマツの種子の採取地として、林業種苗法に基づき昭和49年3月25日に指定されている。

石垣島内には、収穫期に達したリュウキュウマツ造林地が多数あることから、収穫後の更新を図る際、優良苗木が必要となるため、普通母樹林からの種子採取及び優良苗木生産の普及指導に取り組む必要がある。

また、同普通母樹林内に、平成17年度にイスノキが樹下植栽されており、目的樹種以外の樹木の侵入がみられることから、不用木及び不良木の淘汰を目的に今年度、石垣市が除伐を予定しているため、除伐の考え方、具体的な作業内容などを指導した。除伐が必要な造林地が多数あることから、今後も現地調査を行い、普及指導に取り組む。



写真1 普通母樹林及び除伐の説明

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城(智)、金城(彰))